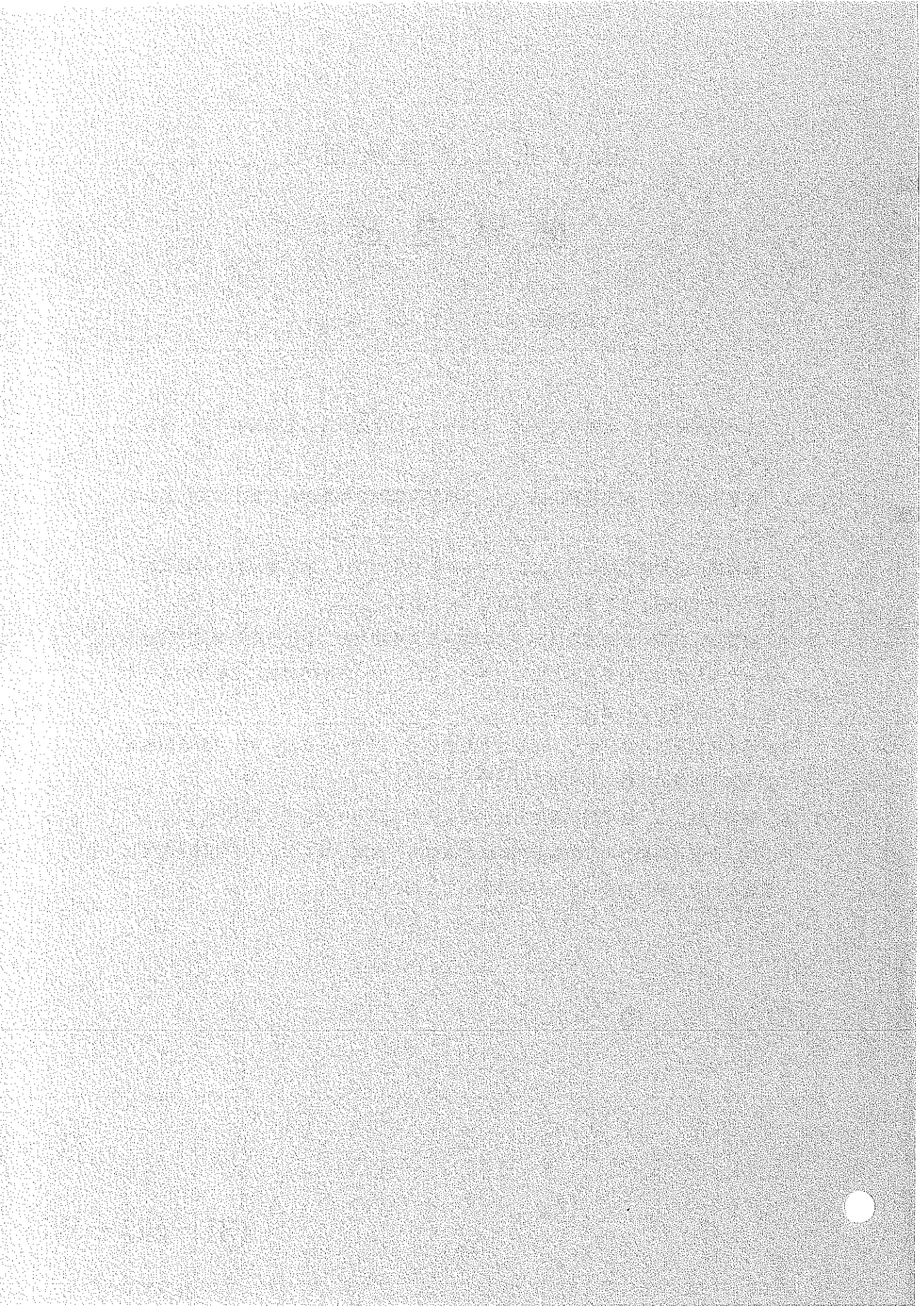


2018 年度 入学 試験 問題

世界史 B

(試験時間 16:25~17:25 60分)

1. この問題冊子が、出願時に選択した科目のものであることを確認のうえ、解答してください。
2. 解答用紙には、記述解答用紙とマーク解答用紙の2種類がありますので注意してください。
3. 解答は、必ず解答欄に記入およびマークしてください。解答欄以外への記入およびマークは無効となりますので注意してください。
4. 解答は、HBの鉛筆またはシャープペンシルを使用し、訂正する場合は、プラスチック製の消しゴムを使用してください。特に、マーク解答用紙には鉛筆のあとや消しくずを残さないでください。
5. 解答用紙を折り曲げたり、汚したりしないでください。また、マーク解答用紙を記述解答用紙の下敷きを使用しないでください。
6. 解答用紙には、必ず受験番号と氏名を記入およびマークしてください。
7. マーク解答用紙への受験番号の記入およびマークは、コンピュータ処理上非常に重要なので、誤記のないよう特に注意してください。



I 次の文章を読んで、下記の問題に答えなさい。(33点)

文字というものを、個人との関係から見れば、それは単に各自の意志や思想を他人^①に伝達するための道具にすぎないが、国家や社会全体といった、より大きな局面から考えるならば、それは政治や行政あるいは種々の文化活動を円滑に進行させていくための、必要にして欠くべからざる道具として機能する。ただし文字が国家に対してそのような機能を果たすためには、まずあらかじめ確固とした行政制度が国家全体にわたってきちんと整備されていなければならないことはいうまでもない。

中国で国家全域にわたって、大規模な国家としての行政体系がはじめて確立されたのは、始皇帝時代のことである。広大な地域のあちらこちらに覇者^(a)が乱立した群雄割拠の時代を制覇し、約五百年に及んだ戦乱の時代を統一した始皇帝は、中国全土を支配する唯一の君主として、北は から南はベトナム近く^(b)にまで及ぶ、空前の統一帝国^②をうちたてた。そして彼はこの大きな帝国を維持するために、斬新な政策^(b)を次々とうちだした。

始皇帝はそれまでの習慣にまったくしばられず、新しい時代を生み出すための政策を次々に実施した。そのため特に周代の政治と文化を理想とし、伝統を墨守する儒学^(c)からは激しく非難され、古代ローマ帝国の皇帝 とともに、東西を代表する暴君とされてきた。しかし近代的政治学の観点からみれば、始皇帝^(d)はまことにすぐれた政治家であったといえる。

始皇帝が実施した中でも最も大きな変革は、全国を三十六の郡に分け、さらに郡をいくつかの県に分けて、そこへ中央から官吏を派遣して、中央集権統治体制を確立したことである。

始皇帝が登場する前の中国には、「 制」という統治体制があった。これは周代に始まった制度で、中央に位置する周王室が、王族や周の建国に際して大きな功績をあげた家臣たちに諸侯としての地位を与え、独立王国を建てさせた。こうして中央には「王の中の王」として周がおり、それを各地の諸侯が補佐する体制ができあがった。「 制」は周代初期には順調に機能していたが、やがて時間が経ち、各地で王たちの世代交代がくり返されてゆくにつれて、中央と諸侯国家との血縁や信義がしだいに疎遠になっていった。

そしてそれとともに、資源に恵まれたり産業育成に有利な土地に王国を展開していた諸侯が、経済的にも軍事的にも力もちだした。そのような有力諸侯は、やがて単に名目だけの盟主の地位にある周にかわって、全国にヘゲモニーを確立しようと競いはじめた。簡単に言えば、春秋戦国時代とはそのような時期だったのである。

そんな弱肉強食の時代を最終的に統一した始皇帝は、全国すべてを直轄地として、そこに郡と県を設置した。この方式を「郡県制」と呼ぶ。そして各地に、設けられた郡や県へ直接に、^{しゅ}守（郡の長官）や^{けい}令（県の長官）という長官を派遣した。こうして中央から地方に派遣された人物は、皇帝から与えられた統治という使命に責任をもち、その任務を遂行することによって俸禄^{ほうりく}をもらう人々であった。彼らの任免権は皇帝にあり、そして地位の世襲は許されなかった。これが中国で最初に登場した官僚であり、こうして中国にはじめて官僚による中央集権的統治国家が誕生した。

（阿辻哲次『漢字の社会史』（吉川弘文館）による、一部改変した。）

【設問Ⅰ】 以下の空欄A～Cに入る語を、記述解答用紙に書きなさい。

問1 に、北方騎馬民族の侵入を防御するために始皇帝が修築した中国北辺の長大な城壁を書きなさい。

問2 に、54～68年に在位し、ローマ帝国史上初めてキリスト教徒を迫害した皇帝の名を書きなさい。

問3 にあてはまる語を書きなさい。

【設問Ⅱ】 下線部①～⑤に関連し、あてはまる語を記述解答用紙に書きなさい。

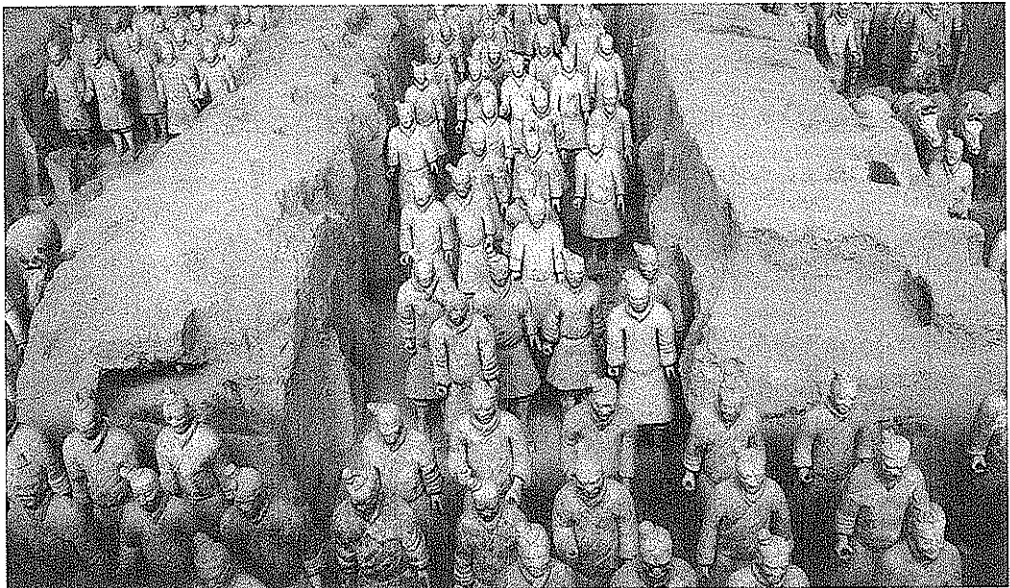
問1 下線部①に関連し、文字発生以前をさす呼称である「先史時代」と対比され、文字資料の存在する時代を「何時代」と呼ぶか。

問2 下線部②に関連し、始皇帝は南方遠征の結果、華南及びベトナム北部を領有することとなり、3郡を設置した。そのうち現在の広東省にあたるのは何郡というか。

問3 下線部③に関連し、この空前の統一帝国の王朝名を何というか。

問4 下線部④に関連し、始皇帝が実施した思想統制政策で、医書・占い・農業関係以外の民間の書物を焼き、儒者数百人を穴に埋めて殺した事件を何というか。

問5 下線部⑤に関連し、写真は中国の陝西省^{せんせいしょう}で発見された、始皇帝陵の墓域^{とうせい}に埋められた像である。この陶製の像を何というか。



(『高校世界史B』(山川出版社)より)

【設問Ⅲ】 以下の問の答えをマーク解答用紙にマークしなさい。

問1 波線部(a)に関連し、「覇者」の説明として誤っているものを1つ選びなさい。誤っているものが無い場合はeを選びなさい。

- a 「覇者」とは春秋時代の有力な諸侯のことである。
- b 「覇者」が唱えた「尊王攘夷」とは、周王を尊び、外敵・異民族をうち払えとする思想である。
- c いろいろな選び方があるが、斉の桓公、晋の文公などが代表的な「覇者」とされる。
- d 戦国時代になると、諸侯たちは周王朝を無視して自ら王を名乗った。それらを「戦国の七雄」といい、斉、燕、楚などの国があった。

問2 波線部(b)に関連し、始皇帝が行った政策でないものを1つ選びなさい。あてはまるものが無い場合には、eを選びなさい。

- a 文字を小篆（漢字の書体の一種）に統一した。
- b 全国で異なっていた度量衡を統一した。
- c 中国初の統一通貨、半両銭を流通させ、その他の貨幣の使用を禁止した。
- d 塩・鉄・酒などの日用品の生産・販売を国家管理とした。

問3 波線部(c)に関連し、この時代におこったできごとではないものを1つ選びなさい。

- a 諸子百家と呼ばれる多様な思想が続々と誕生した。
- b 牛に鉄製の犁を引かせる耕作法が広まり、農業生産力の上昇につながった。
- c 中国最古の詩集『詩経』は、周の祭祀の歌を、この時代に儒家が編纂したものである。
- d 戦国時代の富国策によって商工業が発展し、青銅の貨幣である刀銭・布銭などが用いられた。
- e 蔡倫によって製紙法が改良され、かさばる木簡や竹簡などに代わり、紙が書写材料として普及した。

II 次の文章を読んで、下記の設問に答えなさい。(33点)

イギリスは、1世紀以上にわたり展開された百年戦争に敗北を喫して、フランス北部の港市である [A] を残して退却した。その後、程なくして王位継承を巡り、プランタジネット朝から王位を継承した [B] 家と、[C] 家の両派による内乱のバラ戦争が勃発したが、ランカスター派のヘンリは1485年にこれを終結させて即位し、テューダー朝を開いた。その後、ヘンリ8世、エドワード6世、メアリ1世、エリザベス1世と続いて、絶対王政は栄えた。当時世界にまたがる広大な領土を所有し、「[D] 国」とたとえられた強国のスペインに対抗して、エリザベス1世は、ホーキンスやドレーク船長らに特許状を与えた [E] 船によりスペインの植民地や貿易船を襲撃させて、スペインに打撃を与え、1588年には無敵艦隊(アルマダ)を撃退して、海外進出の基礎を築いた。また、宗教改革の一環として統一法を制定して、イギリス独自の国教会体制を確立した。

未婚であったエリザベス1世の没後、スコットランド王がイングランド王位を継承してジェームズ1世として迎えられ、ステュアート朝が始まった。ジェームズ1世は王権神授説に基づき政治を行い、次に即位したチャールズ1世も一層強力な専制政治^④を展開したために、国民が反発し、さらには議会との対立も激化し、1628年に議会は権利の請願を提出した。しかし、チャールズ1世は翌年に議会を解散し、以後11年間にわたって議会を開かずして専制政治を行い続けた。その後、[F] 派の呼称であるプレスビテリアン(長老派)が大きな勢力を占めていたスコットランドにもイギリス国教会の制度を強制したことで、反乱が起き、議会の招集を余儀なくされた。

1642年には、議会派と王党派の対立が内乱へと発展し、はじめは王党派が優勢であったものの、議会派の中心となった独立派のクロムウェルは、ピューリタンを中心に規範の厳格な「[G] 隊」を編制して王党派に勝利し、長老派を議会から追放して、1649年にチャールズ1世を処刑して共和政(制)を樹立し、さらに1653年に終身の [H] 卿となり、軍事的独裁体制を強化していった。

しかし、このような体制に国民が反発し、クロムウェルの死後、フランスにいたチャールズ2世を国王として迎え、王政が復活する。ジェームズ2世もカトリック復活をはかっているとして、議会との対立は依然として続き、ついに名誉革命が起こっ^⑤

てイギリス絶対王政は崩壊するに至り、この革命による体制は、以後の社会や政治のあり方の基本となった。

その後即位した王である I の治世中の 1707 年には、イングランドとスコットランドが合同して、同君連合から連合王国の形態になった大ブリテン王国が成立した。ステュアート朝が断絶した 1714 年には、ジョージ 1 世が即位してハノーヴァー朝が開かれたが、ハノーヴァーはドイツの名称であることから、第 1 次大戦中に J と改称されて、今日に至るまで存続している。ジョージ 1 世は、内政に関心が薄く、ほぼ関わりなかつたので、「K」という原則が確立され、責任内閣制による政党政治が始まることになった。

【設問 I】 空欄 A～K に入るもっとも適当な語句を記述解答用紙に記入しなさい。

【設問 II】 下線部①～⑤に関する以下の問の答えをマーク解答用紙にマークしなさい。

問 1 下線部①について、百年戦争の間に起きた出来事のうち、誤っているものを 1 つ選びなさい。なお、該当するものがない場合には、(e) を選びなさい。

- (a) バルトロメウ=ディアスが喜望峰に到達した。
- (b) 皇帝カール 4 世が金印勅書を発布した。
- (c) カルマル同盟により 3 国の同君連合が成立した。
- (d) フランス王シャルル 7 世がランスで正式に戴冠した。

問 2 下線部②について、4 人の君主の在位期間を短い順にならべたものとしてふさわしいものを 1 つ選びなさい。

- (a) ヘンリ 8 世→エリザベス 1 世→エドワード 6 世→メアリ 1 世
- (b) メアリ 1 世→エドワード 6 世→ヘンリ 8 世→エリザベス 1 世
- (c) エドワード 6 世→メアリ 1 世→エリザベス 1 世→ヘンリ 8 世
- (d) エリザベス 1 世→ヘンリ 8 世→メアリ 1 世→エドワード 6 世
- (e) ヘンリ 8 世→メアリ 1 世→エドワード 6 世→エリザベス 1 世

問3 下線部③について、16世紀に宗教改革運動の拠点となった大学を1つ選びなさい。

- (a) ケンブリッジ大学
- (b) パリ大学
- (c) サレルノ大学
- (d) オクスフォード大学
- (e) ボローニャ大学

問4 下線部④について、王権神授説に関する以下の文のうち、誤っているものを1つ選びなさい。なお、該当するものがない場合には、(e)を選びなさい。

- (a) フランスの神学者であるボシユエもこの説の主な論者である。
- (b) この説はホッブズに始まるとされ、国民は国王に絶対服従とすべき説である。
- (c) この説はロックなどが唱えた社会契約説によって否定された。
- (d) 太陽王と呼ばれたルイ14世もこの説を唱えて「朕は国家なり」と言った。

問5 下線部⑤について、名誉革命に関する以下の文のうち、誤っているものを1つ選びなさい。なお、該当するものがない場合には、(e)を選びなさい。

- (a) 権利の宣言が承認されて、権利の章典として制定された。
- (b) 国王の権利が大幅に制約されて、立憲王政の基礎となった。
- (c) 寛容法が制定されて、カトリック以外の非国教徒に信仰の自由を与えた。
- (d) メアリ2世とウィリアム3世が共に王位について、共同統治が実現した。

Ⅲ 次の文章は、1986年に東京で開催された先進国首脳会議（東京サミット）に関する朝日新聞の記事を基にしたものである。この文章を読んで、下記の設問に答えなさい。（34点）

約170もある世界の国々。東京サミットに集まるのは、そのうち7カ国の首脳とEC^①の代表にすぎない。世界の政治と経済を動かすひと握りの国々のこの会議を、その他の大多数の国は、どう見ているのか。何を期待しているのか。朝日新聞は海外の総支局を通じて、失業、対外債務などに悩む西側・第三世界の国々の外相・蔵相らにアンケートを行った。このアンケートに回答した12名のうち、トルコのカフベジ首相府^②首席顧問の回答を質問とともに紹介する。

《質問1》 先進国首脳会議^③は国際政治と経済にどのような影響を与えていると思いませんか。

《回答》 サミットが影響力を持つとすれば、産油国を含む発展途上国^④との関係で、先進国が互いに利益となる中期的な視点と対策を提示した場合だ。

《質問2》 東京サミットの最重要課題は何でしょうか。

《回答》 経済では原油価格。原油暴落は短期的には先進国に利益をもたらすが、メキシコ^①、ナイジェリア^④など産油国が将来直面する債務償還問題を考えると深刻な問題だ。非産油国の債務国は一時的には利益を受けるが、第三世界全体としてはマイナス要因だ。政治的には国際テロ^⑤。各国が協調してテロ対策の国際機構を作るべきだ。

《質問3》 あなたの国が抱える当面の最大の経済課題は何ですか。東京サミットはその解決に役立つでしょうか。

《回答》 農産物と工業製品の輸出拡大。貿易の自由の原則^⑥が徹底されない限り、先進国と発展途上国の真の相互依存は成立しない。保護貿易主義は債務償還を困難にするからだ。サミットがその努力をしているかどうか疑問だ。

《質問4》 東京サミットでの日本の役割について助言を。

《回答》 「みにくい日本人」のイメージは、トルコにはまだない。しかし、日本はまだ閉鎖的だ。原油暴落にともなう差益は海外援助と資本輸出に向けられるべきだ。サミットではアジア唯一の代表として、欧州が進めている排他的ブロック^⑥経済化を排し、自由貿易の原則を主張してほしい。

※ 1986年4月21日付『朝日新聞』朝刊・特集10頁より。一部改変した。

【設問I】 下線部①～⑥に関連して、以下の問の答えをマーク解答用紙にマークしなさい。

問1 下線部①に関連して、このとき参加した7カ国に含まれる国名として、正しいものを1つ選びなさい。なお、該当するものがなければ(e)を選びなさい。

- (a) カナダ
- (b) 中国
- (c) ロシア
- (d) スペイン

問2 下線部②に関連して、1919年に始まったトルコ革命に関する記述として、誤っているものを1つ選びなさい。なお、該当するものがなければ(e)を選びなさい。

- (a) この革命の背景要因のひとつに、セーヴル条約の締結が挙げられる。
- (b) この革命では、イブン=サウード（アブド=アルアジーズ）を指導者としてトルコ共和国が樹立された。
- (c) この革命で、スルタン制が廃止された。
- (d) この革命で、トルコは連合国とローザンヌ条約を締結し、関税自主権の回復と治外法権の廃止を実現した。

問3 下線部③に関連して、1975年からこの会議が開催されるようになった背景に関する記述として、誤っているものを1つ選びなさい。なお、該当するものがなければ(e)を選びなさい。

- (a) ニクソン大統領がドルと金の兌換停止を発表し、ドルを基軸とした国際通貨体制は大きく揺らいだ。
- (b) エジプト・シリア・ヨルダンとイスラエル・イギリス・フランスの間で第4次中東戦争がおこった。
- (c) サウジアラビア・クウェート・リビアによって設立されたアラブ石油輸出国機構(OAPEC)は、イスラエルの友好国への原油輸出を停止あるいは制限する石油戦略をとった。
- (d) イラン・イラク・サウジアラビア・クウェート・ベネズエラによって設立された石油輸出国機構(OPEC)は石油価格を引き上げた。

問4 下線部④に関連して、同国で1960年代後半に勃発した内戦に関する記述として、正しいものを1つ選びなさい。なお、該当するものがなければ(e)を選びなさい。

- (a) この内戦は南ローデシア戦争とも呼ばれる。
- (b) 石油資源の豊富なカタンガ州のイボ族が連邦からの分離独立を宣言したのが、内戦勃発の契機となった。
- (c) 旧宗主国のベルギーは、連邦政府側に武器の供与・販売を行った。
- (d) 分離独立軍は、影響力拡大を図るソ連の援助を受けた。

問5 下線部⑤に関連して、2001年にアメリカで発生した「同時多発テロ事件」に関する記述として、誤っているものを1つ選びなさい。なお、該当するものがなければ(e)を選びなさい。

- (a) この事件は、アメリカのニューヨークやワシントンなどで、大型旅客機をハイジャックしたテロリストたちがおこなった自爆テロ事件である。
- (b) この事件を起こしたのは、アフガニスタンのイスラーム急進派政権によって保護されてきたイスラーム過激派組織ターリバーン（タリバーン）とされている。
- (c) 事件の背景要因のひとつには、アメリカを中心にイギリス・フランス・アラブ諸国により組織された多国籍軍が、イラクのクウェート侵攻に対して行った湾岸戦争が挙げられる。
- (d) 共和党のブッシュ大統領（子）は、「対テロ戦争（テロとの戦い）」を宣言し、アフガニスタン・イラクへの軍事行動を拡大した。

問6 下線部⑥に関連して、世界の地域統合の進展に関する記述として、誤っているものを1つ選びなさい。なお、該当するものがなければ(e)を選びなさい。

- (a) 1989年、オーストラリア・日本・アメリカ・カナダ・ニュージーランド・韓国とASEAN 6カ国の12カ国によってAPECが結成された。
- (b) 1992年にリスボン条約が結ばれ、翌1993年にEUが設立された。
- (c) 1992年に、北アメリカでの地域経済圏の構築を目指して、アメリカ・カナダ・メキシコ間でNAFTAが結ばれ、1994年に発効した。
- (d) 1995年、ブラジル・アルゼンチン・ウルグアイ・パラグアイの間でMERCOSURが発足した。

【設問Ⅱ】 波線部⑦～⑨に関連して、以下の問の答えを記述解答用紙に記入しなさい。

問1 波線部⑦に関連して、以下の文の空欄A～Dに適切な語句を記入しなさい。

1960年代半ばになると、南側諸国は北側諸国との国際分業体制において構造的に不利な状況に置かれているから貧困なのだとの主張が南側から出てきた。これを 理論という。1964年には、南側の主導で が設立され、この不平等な分業体制の是正が目指されたが、問題は解決していない。

1970年代になると、発展途上国とみなされていた国から、 と呼ばれる国や地域が生まれ、発展途上国の間での格差が目立ってきた。この問題は一般的に 問題あるいは 格差と呼ばれる。

問2 波線部⑧に関連して、1970年代以降メキシコを含むラテンアメリカ地域に関する以下の文の空欄A～Cに適切な語句を記入しなさい。

サミット開催のきっかけともなった1970年代の世界経済情勢は、ラテンアメリカ経済にも打撃を与え、1982年にはメキシコが債務危機に陥り、その影響はラテンアメリカ地域全体に拡大した。経済が混乱し、国民の不満が高まると、それまで政府主導で経済政策を強権的に進めてきたことから と呼ばれた統治スタイルをとった多くの軍事政権が倒され、民政移管が実現していった。

アルゼンチンでは、1982年にイギリスと 諸島の領有をめぐる戦争で敗れた軍事政権が翌1983年に倒れた。チリでは、1973年に を中心とするクーデタが成功して以降は軍政下にあったが、1983年の経済危機や左派の弾圧にともなう深刻な人権侵害によって軍部を批判する運動が高まり、1988年の国民投票で民政移行が決定された。

問3 波線部㊸に関連して、冷戦終結後の1995年、GATTを継承する常設機関として、世界の自由貿易体制の構築をはかることを目的として設立された機関を何というか。適当な語句を記入しなさい。

